

は じ め に

奈良市は、710年に平城京が開かれ、わが国の首都として日本の政治・経済の中心として栄え、絢爛たる天平文化を築き、以来、1300年にわたり先人が悠久の時をつなぎ、文化遺産と自然環境をたゆまぬ努力により連綿と守り伝え、日本国民の「心のふるさと」と親しまれるとともに、「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録された歴史的文化遺産や、これらと一体となった豊かな自然環境に恵まれています。

しかし、生活の豊かさや快適さを追い求める私たち一人ひとりの日常生活や、社会経済活動によって、地球温暖化をはじめ大気汚染、水質汚濁等の環境問題が複雑化、多様化し、7月に開催された北海道洞爺湖サミットが「環境サミット」と呼ばれたように、地球規模の課題となっています。

市民、事業者、観光客等及び市がそれぞれ協力・協働し、豊かな文化遺産と良好な環境を守り、育て、健全で恵み豊かな環境の恵沢を将来世代に継承し、世代間で共有していくものであると考えています。

本市では、平成20年度からの5年間に、平成18年度を基準として温室効果ガスを3%削減することを目標とした、第2次の地球温暖化対策庁内実行計画を策定し、「冷暖房の適正温度管理による電気使用量の削減」「アイドリング・ストップの実践」「公用電動自転車の利用」「両面コピー等による用紙使用量の削減」「1人1日1kg CO₂削減」等の取り組みを行っています。

持続可能な社会を実現するため、一人ひとりが環境問題に関心を持ち、できることから少しずつでも自主的に行動し、取組みの輪を広げていくことが重要です。

本書は、本市の環境の保全と創造に関する施策についてまとめたものです。皆様の環境問題への取り組みや環境保全活動の一助になれば幸いです。

平成20年10月

奈良市長 藤原 昭